



吉岡和江
観光厚生常任委員



高野洋一
総務常任委員長



武野裕子
建設常任委員

市民アンケートで明らかに

樹林管理 崖地対策 社会的PCR検査を

また、5行政区の地域毎に本格的な検討・協議の場を設けて、移転の是非や方法を含め再検討を行う必要があり、鎌倉市議選とあわせて住民投票を実施し、市民の民意を直接問うことについて、市長に質しました。

高野議員は、少なくとも本庁舎における災害対応の機能は現在地にも残すこと、本庁舎機能を鎌倉地域に残す分散化の視点で再検討することなど、現在のスケジュールに固執せず、計画を見直すよう強く求めました。

新型コロナの影響で来年度の税収減が予測される中で、市長は2028年度に新庁舎開庁予定で移転計画を進めるとしています。

市役所本庁舎の移転を見直し 住民合意で再検討を



高野議員は、「本庁舎整備基金新規積立金」5億円を見直し、樹林管理事業や崖地対策の予算を増やすよう強く求めました。

市長はスケジュールを変更する考えはなく、住民投票についても実施する考えはないと答弁しました。

票を実施し、市民の民意を直接問うことについて、市長に質しました。

税金の使い方の 優先順位変えよ!!

「村岡新駅」建設中止を

市は今年度末に最終判断

市長は、県と藤沢市との3県市で合意書を交わしている「村岡新駅」の「最終見極め」を3月末までに行うとしています。現在、新駅の建設費用などを委託調査しています。

投資効果よりも 財政的リスクが

新型コロナによる影響で、JR東日本は、今年度3月期の見込みで年額4千億円超の大幅赤字が予想されています。新駅建設においては、JR東日本に応分の費用負担を求めるとしています。仮にJRが十分な費用負担をできないのであれば、自治体請願駅であっても、今後の見通しに疑問符を付けざるを得ないという見方です。



下で見通しは不透明です。人口減少・少子高齢化が進行している時代だからこそ、中長期的にみて新駅建設を含む大型開発に踏み込むべきではありません。もともと市民に寄り添った身近な施策にこそ税金を使うべきではないでしょうか。新駅建設を中止するよう求めました。

議員提案の住民投票条例案を10対13で否決

4月の市議選と同時に市民の民意を問うため、高野議員と無所属議員が共同提案した「鎌倉市本庁舎整備に関する住民投票条例」は、賛成少数でまたもや否決されました。2年前に8千以上の署名による市民からの直接請求で、同条例の制定を求めましたが、議会は多数で否決しました。

条例の提案説明で高野議員は「本庁舎等整備基本構想が策定されていることから、改選前の議会できちんと対応し、直接民意を確認する必要がある。そのうえで今後のあり方を審議することが重要」と力説しました。反対した議員は、現庁舎の跡地利用計画が策定されていないことなどを理由にしましたが、民意を問うことに背を向けたのです。

社会的PCR検査など市の責任で!

社会的PCR検査を

保育、障害、介護、医療機関等でコロナ感染症のクラスターが多発しています。鎌倉でも11月に保育施設で初めてのクラスターが発生しました。無症状が半数以上となったおり、感染拡大を防ぐためにも、世田谷区等でも実施しているPCRの社会的検査を今こそ実施すべきではないかと吉岡議員は一般質問しました。

市は、濃厚接触者だけでなく、感染者が出た施設の職員、利用者のPCR検査を実施しており、社会的検査は考えていないと背を向けました。

少人数学級 当面小3まで拡充を

文科省も少人数学級の必要性を認めています。3年生まで35人以下にするのに6クラス増でできる

国は昨年末、公立小学校の1学級の人数を2021年度から5年間かけて毎年1学年ずつ35人学級に移行させることを決定しました。しかし、移行のスピードも遅く、感染症対策としても不十分です。一方、中学校と高校の学級編成の引き下げはありませんでした。



選択的夫婦別姓

国会で議論を! 意見書を採択

いま、選択的夫婦別姓を求める声が急速に高まっています。

世界で日本だけが夫婦同姓を義務化している事実を国も認めおり、鎌倉市が取り組んでいるSDGsのジェンダー平等の観点からも重要な問題の一つです。

今こそ導入に踏み切るべき時との思いから、武野議員を中心に議案提案権を行使し、多数により意見書が採択されました。

橋本聖子男女共同参画担当大臣や菅首相も一定の前向きな発言をしていることなどから、「党派を超えて実現を図るべきときである」とし、国会で早急に議論を進めることを求めたものです。

安心して住み続けれる鎌倉を目指して



昨年10月から11月に行った市民アンケートは12月で1350通の回答が寄せられました。ご協力ありがとうございました。12月議会では皆さんの意見を参考にして質疑を行いました。集計結果は次号に掲載いたします。

介護保険料

値上げストップを

来年度から第8期介護保険料の改定が行われ、「次期高齢者保健福祉計画」の検討についての報告がありました。

次期介護保険料は現状より値上がりする予定との報告に対し、吉岡議員は「基金の取り崩し」や「保険料の所得階層を16から20段階」に広げるなど、保険料の軽減を図るよう要望しました。

街路樹

根上がり

梶原、西鎌倉大通の歩道が街路樹の根上がりで行き止まりになり、通行しづらい箇所があり、改善を求めました。

市は、作業センターで対処しているが、抜本的改善に向けて対応していきたいと答弁がありました。唯一の歩道整備計画がある大船—西鎌倉線について、特に未整備区間の安全確保のため、深沢から鎌倉山への歩道整備が急がれます。既存のU字

工のふた掛けをするなど、今後の暫定的な対策を含め、未整備区間の歩道整備を求めました。答弁では、ふた掛けも含め、歩道整備に努力すると答弁しました。

水害対策

重点地区の整備へ

市は、1時間雨量57.1mmの目標で雨水整備を進めています。浸水被害を解消するため、4つの重点河川対策地区を決めています。現状の整備率は77.8%です。重点河川である大塚川—新川の分水計画では、地権者の方の用地確保交渉や東京電力など地下埋設物移設について協議を行っています。

他の重点地区について市は、今後実施計画に位置づけ実施していくとなりました。

村岡駅

「市民に問わない」断言

市民アンケートでは、JR大船駅と藤沢駅の間に造ろうとしている村岡新駅については、圧倒的に「反対」を選んでました。

「コロナで深刻な状況に陥り、大型開発は妥当でない」「本当のことを教えてください」と寄せられた声を紹介し、3月31日までの間に市民の声を聞くことはないのかと

迫りました。

しかし市の答弁は、これまでの市の発表や報道もされたことを理由に、「年度内、新駅の最終見極めの間に市民の意見を聴取する予定はない」と断言しました。

北鎌倉隧道

いまだトンネルの地権者と交渉せず

北鎌倉隧道の安全対策工事は現在、3案（小型自動車通行案、救急車両通行案、歩行者のみ）を1案に絞る段階です。その過程で地権者の土地を市が一括管理（買い取り、借地など）することを検討していることがわかりましたが、いまだにトンネルの大船側の地権者とは交渉せず、1案に絞る検討が進みません。

トンネルが封鎖される前は、何の問題もなく通学や近隣の方が通っていました。トンネルが閉鎖されたのは2015年（平成27年）4月28日。実に5年半も通行不能となっています。そのためこれまでに使った税金は、北鎌倉



経済的理由で小・中学校の入学準備に困っておられる方、心配しないで！ 就学援助制度があります！

昨年はコロナの影響でご家庭の収入が減った世帯が増えています。ぜひこの制度を活用して入学に備えてください。

- 所得制限 例）4人世帯で持家世帯は430万円、借家世帯は510万円
- 援助費 5万600円
- 申し込み 申請書を教育委員会学務課へ郵送



詳しくは☎61-3796か、ホームページ「鎌倉市学費支援制度」もしくは左のQRコードで。

議会の動画はここから見られます



住民投票
条例案
審議



高野洋一
一般質問



吉岡和江
一般質問

駅北口臨時改札の費用が約5538万円、交通誘導員費用が約610万円に及びます。昨年は、山ノ内の8町内会による、北鎌倉隧道の早期通行再開についての要望書が議長に出されました。市長は一刻も早い安全対策工事を進める責任があります。

マイナンバーカード なくとも医療は受けられます

今年3月以降「マイナンバーカードが保険証として使えます」と広報がされていますが、そのまま持参するだけでは使用できず、事前にマイナンバーのポータルサイトで利用登録が必要です。また、マイナンバーカードを保険証として利用できるのは対応医療機関のみです。

国は制度開始の今年3月には6割の医療機関でオンライン資格確認の導入（マイナンバーカードを保険証として利用できる医療機関になること）を目指していますが、資格確認に利用する顔認証付きカードリーダーの申し込みをしている医療機関の割合は11月中旬の時点で17.3%です。マイナンバーカードの交付率自体が2020年11月1日時点で21.8%にとどまっており、健康保険証として利用を進めることでマイナンバーカードの交付率を上げることが国の狙いです。

マイナンバーカードは個人情報が集積されています。保険証として持ち歩けば紛失の可能性も高まります。今後もマイナンバーカードは持たない、つくらないことが最善です。

議案の採決結果

◎：全員賛成 △：一部反対 ×：全員反対
〈議長は採決に加わっていません〉

議案番号	議案	会派の名称							
		共産党 3人	自民党 3人	公明党 3人	鎌倉みらい 3人	ヴィジョン 3人	鎌倉会 2人	ネット 2人	無所属 5人
市長議案	79	事務分掌条例及び鎌倉市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	×	◎	◎	◎	◎	◎	×
	86	令和2年度鎌倉市一般会計補正予算	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
議員提案	12	本庁舎整備に関する住民投票条例の制定	◎	×	×	×	×	◎	◎
	13	選択的夫婦別姓導入に向けた民法改正について国会で早急に議論を進めることを求める意見書	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎